米沢有為会 米沢支部だより

第 15 号
平成19年８月１日
発行者
㈳米沢有為会
米沢支部
支部長 安部三十郎
米沢市金池5-2-25
☎ 0238-22-5111

平成19年度総会の開催
会員の増強活動など決まる

㈳米沢有為会米沢支部総会が、平成19年６月２日(土)午後１時から、アクティー米沢大会議室で開催されました。安部支部長あいさつのあと議事にはいり、平成18年度庶務報告、決算を承認のあと、平成19年度支部事業計画(案)及び予算(案)も原案通り可決されました。また、米沢支部規則の一部改正、役員改正についても承認されました。

引き続き、教育功労者及び特別顕彰の表彰式が行われ、鈴木　昭さんら３名、１団体に表彰状が贈られました。表彰内容は次ページに掲載しています。(写真は鈴木航太さん)

「天地人」のまちおこし

米沢市長　安部三十郎

いま、米沢市民一番の話題は再来年のＮＨＫ大河ドラマに、直江兼続を主人公とした「天地人」(原作・火坂雅志)が決定したことではないでしょうか。

大河ドラマの通例で、ゆかりの地である米沢にはたくさんの人がおいでになることが予想されます。本当においでいただけるよう、そして、おいでになった方々が満足して帰られますよう準備に努めなければなりません。

しかしながら、それだけで終わってはならないと考えています。再来年は米沢市制百二十周年に当たります(有為会も同様に百二十周年です)。この偶然の重なりを幸いに、米沢はまちづくりの原点に返ってみたいと思います。

そもそも、直江兼続は何をした人でしょうか。考えてみると三点に絞られる気がします。その一、上杉謙信に始まる「義を重んずる」気風を、主君上杉景勝と共に米沢に残しました。その二、現代に続く城下町米沢の骨格作りを行いました。その三、学問を大切にしました。当時の最高学府である京都五山や足利学校と交流し、米沢に図書館と学問所を合わせた「禅林文庫」を作りました。その後、好学の気風は上杉綱憲の学問所、上杉鷹山の藩校の設立へとつながってゆきます。

私たちはこれらを現代に置き換えてみる、ということが大切かと思います。義を重んずるとは、すなわち高い倫理観と言い得ますから、具体的には九月に予定されている「ぼっくい市」の再現のようなものによって醸成してゆきたいと思います。

まちづくりについては、現在「花と樹木におおわれたまちづくり」計画を市役所内で練っているところですが、いずれ、市民の皆さまにご相談して進めてゆくこととなります。

学問を大切にする気風は、米沢女子短期大学の四大化や新図書館の建設によって高めてゆきたいと考えています。

天地人は、天の時、地の利、人の和の意かと思いますが、天の時、地の利の揃った今、人の和によって米沢の地域振興に努めてゆきましょう。

教育功労者を表彰

支部総会の席上、教育功労者として表彰された皆さんを紹介します。なお、本部表彰者及び育英奨学生採用者については会誌五十七号に詳しく掲載されます。

▼鈴木　昭さん

「愛宕と農を考える会」の代表として、地域の農家をまとめ、学校給食における地産地消や食農教育に貢献しています。

また、愛宕小学校の田や畑の先生として活躍しながら、学校評議員を務め学校と地域の連携にも尽力しています。

▼紺野由樹さん

飯豊中学校吹奏楽部顧問として、全日本吹奏楽コンクール山形県大会で五年連続金賞を受賞。特に平成十八年度は県大会、東北大会において最高得点で金賞、東日本大会で銅賞を受賞。その指揮者としての技術が高く評価され指揮者賞を受賞しました。

▼鈴木航太さん

日頃の努力と精進により、置賜地区英語弁論大会、第五十八回山形県中学・高校英語弁論大会、第五十四回東北六県中学校暗唱・高等学校英語弁論大会において見事優勝の栄誉に輝きました。

▼飯豊中学校吹奏楽部のみなさん

全日本吹奏楽コンクール山形県大会で六年連続金賞を受賞。特に平成十八年度は県大会及び東北大会において最高得点で金賞を受賞し、初出場を果たした東日本大会でも銅賞を受賞するなど各種大会で活躍しています。

▲愛宕小児童に農業指導する鈴木さん

▲高いレベルで活躍する飯豊中吹奏学部

▲お礼の言葉をのべる受賞者

《本部表彰の方々》

うこぎの町米沢かきねの会のみなさん・佐藤富雄さん・本田米子さん・長岡大祐さん・佐藤洋輔さん・九里学園高等学校陸上競技部のみなさん

～ 活躍する会員紹介 ～ ③

ジャズシンガー　青柳陽子

3才より12年間クラシックピアノを習う。中学校ではブラスバンド部でクラリネットを担当。米沢興譲館高等学校では演劇部に在籍。千葉大学教育学部中退後、単身渡米。ニューヨーク等で感性を磨く。その後フリーのジャズシンガーとして都内近郊ホテル等を中心に仕事を始める。現在ホテル、クラブ、バー、ラウンジを中心にレギュラー出演。ディナーショー、各種イベント、パーティー、コンサート等に多数出演。またロス・フラミンゴスのボーカルとしてラテングループでも活動。

1999年10月米沢市に後援会が結成。2000年4月から1年間、米沢市CATV・NCVの音楽番組にレギュラー出演。

2006年5月、目黒川STUDIOでボーカル講師を始める。

▲2007年7月14日、上杉城史苑にて青柳陽子米沢後援会でのコンサート

歌に日本人の持つ細やかな情緒を込め、本物のジャズフレイバーを感じさせながら一曲一曲を大切に歌う数少ないタイプのポピュラー、ジャズシンガー青柳陽子。

現在、銀座のクラブや都内のライブハウス中心に週4～5日活動しながら、週末にはプロ歌手やアマチュアの方に歌の指導もしている。

これからも聴く人の心が癒されるような歌をつづけて行きたい……。

平成19年度　社団法人米沢有為会米沢支部事業計画

1．会員の増強運動
　　会員倍増計画の実施
2．会員交流会の開催
3．会費収納率の向上
4．教育・産業功労者表彰
5．米沢支部だよりの発行（年２回）
6．支部組織の充実強化
　　総務部・産業部の新設

平成19年度　社団法人米沢有為会米沢支部会計予算

（収入の部）　（単位：円）

項目		本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
1 会費		1,500,000	1,370,000	130,000	一般会費 @ 3,000×350=1,050,000 特別会計 @ 7,000× 50= 350,000 賛助会費 @10,000× 10= 100,000
(1)	本部費	750,000	685,000	65,000	合計 1,500,000
(2)	支部費	750,000	685,000	65,000	会費総額の1/2
2 繰越金	支部費	868,465	1,328,730	△ 460,265	平成18年度から
3 補助費（本部費）		0	200,000	△ 200,000	
4 諸収入	支部費	535	270	265	預金利子等
合計	本部費	750,000	885,000	△ 135,000	
	支部費	1,619,000	2,014,000	△ 395,000	
	合計	2,369,000	2,899,000	△ 530,000	

（支出の部）　（単位：円）

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
1 本部費	750,000	885,000	△ 135,000	会費（1,500,000×1/2）
2 支部費	1,619,000	2,014,000	△ 395,000	
(1) 報酬	180,000	180,000	0	常務理事報酬 @15,000×12月
(2) 会議費	180,000	180,000	0	総会及び理事会費
(3) 旅費	300,000	300,000	0	本部理事会（@20,680×２名×７回）
(4) 印刷製本費	100,000	200,000	△ 100,000	総会資料印刷等
(5) 通信費	300,000	200,000	100,000	会誌、名簿及び総会案内等郵送料
(6) 事業費	350,000	400,000	△ 50,000	表彰及び米沢支部だより発行
(7) 消耗品費	70,000	70,000	0	ゼロックス代及び事務用品等
(8) 食糧費	60,000	60,000	0	各種打合せの折食事代等
(9) 諸費	20,000	50,000	△ 30,000	振込手数料他
(10) 繰出金	0	200,000	△ 200,000	
(11) 予備費	59,000	174,000	△ 115,000	
合計	2,369,000	2,899,000	△ 530,000	

平成18年度　社団法人米沢有為会米沢支部決算書

【平成19年３月31日現在】

（収入の部）　（単位：円）

項目		予算額	決算額	比較増減	摘要
1 会費		1,370,000	1,769,980	399,980	一般会費 @ 3,000×382=1,146,000 特別会計 @ 7,000× 70= 490,000 賛助会費 @10,000× 17= 170,000 （郵便振替手数料 △36,020）
(1)	本部費	685,000	884,990	199,990	会費総額の1/2
(2)	支部費	685,000	884,990	199,990	
2 繰越金	支部費	1,328,730	1,328,730	0	平成17年度から
3 補助金（本部費）		200,000	200,000	0	米沢市からの補助金
4 諸収入	支部費	270	73,648	73,378	支部総会懇親会会費 72,000 預金利息 648 雑入 1,000
合計	本部費	885,000	1,084,990	199,990	
	支部費	2,014,000	2,287,368	273,368	
	合計	2,899,000	3,372,358	473,358	

（支出の部）　（単位：円）

項目	予算額	支出済額	比較増減	摘要
1 本部費	885,000	1,084,990	199,990	米沢市補助金 200,000 会費(本部へ納入金)884,990
2 支部費	2,014,000	1,418,903	△ 595,097	
(1) 報酬	180,000	150,000	△ 30,000	常務理事報酬 @15,000×10月
(2) 会議費	180,000	215,590	35,590	総会及び理事会費
(3) 旅費	300,000	211,760	△ 88,240	本部理事会出張費(理事会７回、延べ12人)
(4) 印刷製本費	200,000	112,875	△ 87,125	総会案内状印刷及び封筒印刷代金他
(5) 通信費	200,000	231,512	31,512	総会案内・会誌・会報等郵送料
(6) 事業費	400,000	152,858	△ 247,142	表彰状及び記念品代、支部だより発刊(２回)
(7) 消耗品費	70,000	80,436	10,436	ゴム印及びゼロックス代等
(8) 食糧費	60,000	46,617	△ 13,383	各種会議の折食事代（７回）
(9) 諸費	50,000	17,255	△ 32,745	講師土産及び振込手数料等
(10) 繰出金	200,000	200,000	0	我妻榮記念館営繕特別会計へ繰出
(11) 予備費	174,000	0	△ 174,000	
合計	2,899,000	2,503,893	△ 395,107	

収入合計　3,372,358　－　支出合計　2,503,893　＝　繰越金額　868,465

平成18年度　我妻 榮記念館営繕特別会計決算書

（単位：円）

収入		支出		摘要
項目	金額	項目	金額	
前年度繰越金	0	次年度繰越金	1,305,670	〔寄付金内訳〕
一般会計繰入金	200,000			*旧山形支部 85,342
寄付金	1,105,342			*遠藤広子様 1,000,000
預金利息	328			*加藤洋子様 20,000
収入合計	1,305,670	支出合計	1,305,670	

リレー随想 ②

興譲館寮の思い出

山形市　安部　敏

昭和四十三年四月、上京して大学に進学し、東京興譲館寮に入れていただきました。

数えてみればもう四十年近く前のことになりますが、当時の寮生活の情景が今なお鮮明に思い出されます。

入寮後、諸先輩の手ほどきにより酒も煙草もすぐに覚え、寮で飲み、あるいは連れだって近くの飲み屋に出かけるようになり、飲めば青臭い人生論や政治論を向きになって論じ合い、何度酔いつぶれたかわかりません。金のない学生が、あの頃どうしてそんなに飲めたのか不思議なくらいです。

寮のおばさんが出してくれる食事もおいしく、確か夜九時を過ぎても食堂に残っているご飯やみそ汁、おかずなどは、誰が食べてもよいことになっていたので、その時間になると夜食を求める寮生で食堂が賑わいました。食堂には、いまでは超旧式の瓶入りコーラの自動販売機が一台置いてあり、それをよく飲んだりしたものです。

そのころ、映画「卒業」が封切られ、サイモン＆ガーファンクルが歌う「サウンドオブサイレンス」など、この映画の挿入歌が大ヒットしました。そのサウンドトラックのLPを寮生のN君がいつも掛けていたことも、なつかしい思い出です。

外は大学紛争やベトナム反戦運動が頂点に達し、激しい嵐が吹き荒れていた時代でしたが、その一時期、面倒見のよい諸先輩や気心の知れた友人たちと一緒に生活できたのは、思えばまことに幸せなことでした。

■米沢有為会米沢支部役員■

（任期：平成19年9月1日～平成21年8月31日）

〔顧　問〕
遠藤武彦・木村忠三・湖山寛一・後藤　源・高橋幸翁・武田　誠・中川　勝・野村研三・横沢三男

〔相談役〕
安部行雄・石塚忠夫・上杉虎雄・遠藤英明・大久保利之・川崎　豊・工藤正三・黒田新助・小関　薫・佐野清一・島田康雄・鈴木徳松・高橋　昭・濵田五左衛門・町田富保・松野良寅・村山正一

〔支部長〕
安部三十郎

〔副支部長〕
曽根伸良・星　一郎・高橋勉

〔理　事〕
五十嵐京子・石田一郎・井熊征一・梅津幸保・遠藤善之・大友久太郎・蒲生直樹・小林　栄・佐藤政一・佐藤他人太・山宮光雄・柴田　孝・鈴木幸一・鈴木秀男・高橋節子・高橋丈夫・塚田昌伸・手塚　修・本多和彦・山上了史・山木勇一郎・吉田美智子

〔評議員〕
安部　敏・阿部虎雄・岩間弘一・江川栄助・遠藤善則・加藤　功・加藤真琴・下條邦彦・小島和雄・小林圭一・小林伸一・小林伸也・柴田正孝・庄司芳彦・高橋英機・武田誠一郎・田邨憲一・手塚宮雄・戸田直博・長谷川啓二・福崎真知子・舟山豊弘・皆川秀雄・村石力弥・山口昇一・山口弘子・渡部秀丈

〔監　事〕
上杉季雄・淀川泰正・中條良文

〔参　事〕
伊藤秀一・高橋　章・本間浩・宮本秀行・米　浩二・岡部　仁・赤木義信

会員増にご協力を

二年後の創立百二十周年に向け、会員倍増キャンペーンを実施しています。会員一人一名の勧誘を目標にした取り組みにご協力ください。

支部会員の状況

	会員数	
	18年度	17年度
米沢市	445	432
置賜2市3町	88	85
山形市他	43	37
合　計	**576**	**554**
加　入	56	49
脱　退	34	36
増　減	22	13

編集後記

▼新潟県中央部がまたまた災害に襲われた。今回は中越沖地震とされたが、三年前に引き続いての災害に、同情の念を禁じ得ない。特に新潟県は上杉氏の領地だっただけに、歴史的にも米沢市との係わりの深い地域が多く、なおさらに心が痛む。

▼こうした災害があると市民の間では「米沢は災害がなくていい所だよな」と会話が交わされる。そして次に口にするのは決まって「雪さえなかったらなー」。でも雪対策には事前に準備できるだけ〝良し〟としなければ。（山）